



新春題詠

さつき

投票結果発表

◆「かばん」恒例イベント、新春題詠。昨年十一月に歌を募集したところ七四首もの歌が集まりました。それらの歌に対して、暮から一月にかけて「Twitter」等で呼びかけ、広く選歌投票をお願いしました。

◆投票は、投票者一人の持ち点10点とし、良いと思う歌に2点もしくは1点を選歌フォームから投じていただきました。有効投票者八六名、全得点860点が投じられました。
◆以下、得点と歌と作者名を公表します。

【一位 41点】

図書館で沼を見つけたさつきから飛び込む人の本が散らばる

鈴木智子

【二位 36点】

さつきまでいなかった人がいるだけで生活音がやわらかくなる

柴田瞳

【三位 28点】

厭というわけじゃないけどちっぽけなさつきが足にまとい付くんだ

飯島章友

【26～20点】

夕空にさつき流れた音楽の消えたところではじまる家族

榎木千尋（26点）

さつきね、とさつきのことを聞かされているうちに遠くなりゆくさつき

佐々木遥（26点）

さつきからずっとストローの袋をもんで もしかしてそれ鳥になるの？

戸田響子（23点）

ついさつき泣いていた子が空にいてオレンジジュースを虹にわけてる

石黒サトシ（22点）



誰からも見つけられずにさつきまで底に沈んでいたゆで玉子 福島直広(21点)

ああ、さつき下駄箱の上のこけし二体倒してきたのは私ですよ。 小坂井大輔(20点)

【19点~10点】

さつきまで隣に立っていたのにね スパッと切ったような半月 斎藤見咲子(19点)

飛ばし飛ばし覗くあしたもあさつても予知夢にさつきのカレーが匂う 高柳蒔子(19点)

さつきまで触れてみた指うつくしく境界線をほらひいてゆく 大黒千加(18点)

今さつき前をとおった角の家、の犬のいとこがオレン家の犬 くらみらり(18点)

さつきまで未来の今日の朝のこと君がしきりに手をふっている 藤本玲未(17点)

監督に「さつきの寝癖良かった」と言われてあたし悪に堕ちたの 藤島優実(16点)

後ずさりする人の波 ひとりとは会話に「さつき」の出てこないこと 風野瑞人(16点)

さつきから底で動かぬ黒い貝同じ深度で我が内に棲む あまねそう(16点)

「好き」はもうさつき聞いたよその先の燃え上がる核心を見せてよ 雨宮真由(16点)

さつきまで思ひ浮かばなかつたのにたしかな春が綴られてゆく 小佐野弾(16点)

さつきから彗星の音がするみたい 膝を抱いたまま眠りこむ神父 柳本々々(15点)

輝きに釣り合う弱ささつきまでいたコンビニの闇夜の光 若草のみち(15点)

こぼれさる さつき さるとき さらさらとつもりてひとのさだめうつせり コトハラアオイ(15点)

さつきまで頬紅くして泣いていてわたしの背丈を追い抜いていく 三澤達世(15点)

さつきから ^{もてあそ}玩^{んで}るチケットを君は捨てない 進むのでしょうか 茂泉朋子(15点)

さつきから窓をたたいている虫の未来を変えてしまいましようか ながや宏高(15点)

さつきから日の入りの話をしている 入るんだ、こうやって、熱くて。 とみいえひろこ(14点)



生涯に言いだせなかった一言で翼が重い「さつきはごめん」 前田 宏（14点）

太陽から夢の木枯し吹いてくるさつき生まれた粘菌たちへ 久保明（14点）

さつきっていつまでだろう平成の保育園舎が灯を落とす道 川合大祐（13点）

さつきから鳴り止まないの耳鳴りが一番星をつぶしたせいで 東ころろ（13点）

さつき君のくれた言葉を口に入れ噛んだら消えてしまうキヤラメル 土井礼一郎（13点）

さつきから猫が見上げる部屋の隅私は見ない感じもしない 奥坂竺人（13点）

さつきまでジンベエザメの腹筋であった記憶をたどり、世界へ 岩井曜（13点）

秋風は神の衣擦れ さつきまでここにゐたあなた攫ひ去りたり 睦月都（13点）

さつきまで雲の間に潜^{あわい}んでた金鳥が抱く窓際の猫 柚木ことは（11点）

さつき出来た青い星でもうごちやごちや喧嘩始めやがった うちゅうより 河野瑤（10点）

手の上のすくった水に宿る陽をこぼしてさつきまでの平生^{へいせい} Aquila（10点）

ハイドンの「皇帝」を聴くゆくりなく さつきの てがみの ごようじ なあに 雨谷忠彦（10点）

「さつきまで確かにそこに、」 マジシヤンの朝焼け灯す遺族の瞳 宇田川椎名（10点）

さつきまで常世を巡っていたようなヴィオラの音に連れられてゆく 澤田順（10点）

【九点以下】

モザイクのさつきのこどもは天使ではなく 核兵器は消耗品で

す 散りにけり一閃の花橘の香の我が胸にさつきのおまへ 山下一路

さつきから深深と雪一月は号泣をするときを与えぬ 佐藤元紀

言葉だけの街でひたすら待つ夜明けさつきの楽器で色は塗らな

い こぎともり 小野田光

^水 Wednesdayの読まれない a 摘みとり「さつきはごめん」って不

燃^もこみの日 久保芳美

こんなにも二人だナニヨサツキノデンワオトコデシヨナイテバ 新井蜜

カリデ さつきまで熱だったものトロピカル、違う、違うなとろけてひか

る 都築つみ木

見て 空にパパとママだよ パパとママとさつき見ていたあた

しの影だ 田中ましろ



食べたのは手紙じゃなくて時間だね やぎさん郵便 永遠のさつき

さつきから枕代わりにされている肩をそのまま低反発に

浜田えみな

ついさつき／凍る星から／帰ってきた／カメラを忘れ／発ってしまった

寺島奈保子

さつきまで雨が降ってた今霧が地を包みつつただ上りゆく

柳谷あゆみ

さつきまで納豆食べてたその口でキスをせがむのやめてくんない！

吉川満

ピピネラをリクエストしたさつきまでエフエムココロ忘れていたよ

池田幸生

夕闇の広場に並び立つ兵士「彼らは生きていたのださつきは」

有田里絵

さつき殺されたのだからやまにみとれている前にわたしのなみ

野川忍

だよながれなさい
なんでもないのでに微笑んでるきょうのきみ 机は「さつき」に囲まれている

足田久夢

幻聴がふれいんぐなうさつきから蟬に追われて「もう秋なのに！」

杉山モナミ

「ついさつき火星人が家に来て求婚されたの」白昼夢かな

ミカヅキカゲリ

きみはなんにもなくささないからいいさつきあなたをなくしたばかり

那由多

蟬燭の雫が繭が花の実が語るさつきは存在しない

笠井烏子

君なんて石を投げたら当たった子なんかさつきとちがう顔だね

百々橘

それうさぎ？ ううん、セーター。さつきまで寝ていた顔でさよならをする

壬生キヨム

さつきから橘くんが待つとるぞ出てこいみどり容疑は晴れた

竹中優子

松永弘之

ついさつき禍々しき剣払いのけ間合いを量る侍ミフネ

雨宮 司

賛美歌を歌うふりしてたのはいつ、さつき？ 進行形の憎しみは針

助けてと電話していたさつきまでまことの母の匂いに酔った

ゆきひらはと

さつきまでツライ思いがおぶさっていたのだけれどポツキーねぶる

嶋田恵一

さつきまでおなじ光を見てたのに 五月の空はいつも高くて

さつき

降ってきた。さつき手ぶらで出ていったあなた、頭がずぶぬれだよね

伊波真人

さつきまで路上灯してたソロギターもある響きは雑踏に溶け

久真八志

さつきまで当たっていたの薄すぎたひかり奥歯にからみとれな

イワタヒロコ

い さつき迄影踏む如く燥ぎしラッキーももう道の端で係絡された

岩崎陸

「さつき」とは失ふものを知り尽くす我よと思ふ閑散として

乗倉寿明

十倉れい

以上